経 済 建 設 委 員 会 記 録

1　日　　時　　令和８年７月３１日（金）
　　午前１０時００分　開会
　　午前１０時３８分　閉会

2　場　　所　　第２委員会室

3　出席委員

委員長	野　田　明　里	副委員長	高　塚　広　義
委員	加　藤　昌　延	委員	越　智　克　範
委員	井　谷　幸　恵	委員	小　野　辰　夫
委員	仙　波　憲　一		

4　欠席委員
　なし

5　説明のため出席した者
・港務局事務局

事務局長	山　下　　武	港湾課長	西　本　吉　宏
港湾課技幹	川　人　亮　祐		

・企画部

技術監	高　木　利　記

6　委員外議員
　なし

7　議会事務局職員出席者
　議事課係長　　村　上　佳　史

8　本日の会議に付した事件
　所管事務調査
　　港湾について
　　　新居浜港について

9　会議の概要
　○　開　会　　午前１０時００分

（委員長）開会挨拶
（港務局事務局長）挨拶

所管事務調査

港湾について

新居浜港について

（港湾課長）資料について説明

＜　質　疑　＞

（委員）脱炭素化推進計画については、令和５年９月に策定して公表されてから既に３年が経過しているが、この進捗状況とこれからの予定や課題を教えてもらいたい。

（港務局事務局長）年に１回は協議会を開催するようにしているが、昨年度は開催できなかった。CO_2排出量の目標としては、2025 年、2030 年、2050 年ということになっており、今年度に協議会を開催して、CO_2排出量について、各管理者の方から意見聴取するように考えている。その出た意見を踏まえて、今後どのような取組をしていくべきかということについては、皆さんと協議をして、検討したいと考えている。

（委員）住友各社が積極的に動かないと、達成できないような目標が多かったと思うが、その辺についてはいかがか。

（港務局事務局長）先ほどの資料でも説明させていただいたようにＬＮＧタンクの操業も開始され、CO_2削減に向けた取組が進められている。各管理者の取組内容については、今年度に開催する協議会の中で確認したいと考えている。

（委員）予定どおり進んでいると見ていいのか。

（港務局事務局長）今の時点では数字的なものは出ていないが、肌感で言うとおおむね進んでいるのではないかと考えている。

（委員）以前には新居浜から大阪へ向かうバンパックフェリーがあったが、廃止になった理由は物流の関係によるものか。

（港務局事務局長）瀬戸大橋の開通などが影響していると考えている。

（委員）マリンパーク新居浜の人工海浜の年間維持費用はどのくらいか。

（港務局事務局長）人工海浜については、潮の影響により砂が動くため、７月中旬の海開きの前には整備しており、年間 400 万円弱程度の費用がかかっている。

（委員）毎年、砂の補充はしているのか。

（港務局事務局長）過去には補充していたが、最近はしていない。明らかに砂の量が減っているので、今後は財政部局とも協議して、砂の補充を考えていきたい。

（委員）人工海浜がアーチ状になっているのは、砂が持っていかれないようにするためか。

（港務局事務局長）当時の設計内容について分からないところもあるが、砂が持っていかれないような検討はしていると思う。

（委員）マリンパーク新居浜のクラブハウス内のリーフレットなどが置いてあるスペースをもう少し有効に使えたら利用者が増えるのではないかと思う。２階にあるレストランでは豪華な食事をできるのだが、１階で 1,000 円程度で食事ができるような施設などは考えていないか。また、新居浜は工場夜景がきれいなところだと思うが、クルーズ船などは検討されないのか。

（港務局事務局長）マリンパーク新居浜については、指定管理者制度を導入して事業者に管理運営をお願いしている。クラブハウス内での飲食については、我々も軽食などができたらいいとは考えているので、できるかどうかは分からないが、事業者へ働きかけはしたいと考えている。

　クルーズについては、北海道でも事故があったということで、一般の方を乗せることのハードルがかなり高くなっており、マリーナの方に聞くと専用の免許みたいなものが必要となり、人員の関係も

あってなかなか厳しいという意見も聞いている。そのような状況ではあるが、このことについてもマリーナと協議はしたいと考えている。
（委員）新居浜港長期構想案に対するパブリックコメントが実施されていると思うが、どのような意見が出ていたのか。
（港湾課長）５件ほどの御意見があり、労働環境の改善に関するものが２件、将来の港の整備の在り方に関するものが２件、あと広くほかの事業者も含めて聞いたほうがいいのではないかというものが１件あったと思う。
（委員）パブリックコメントの結果を受けて、合同委員会を開催された後、安全検討委員会も開催されることになっており、その後の港湾計画図自体は令和９年度に作成することになっているが、具体的に展開するのはいつ頃になるのか。構想案にはいろいろな項目が記載されていて、このようなことを具体化していくことについては、例えば令和９年度に具体化できるのか。
（港務局事務局長）実際の事業化についてだが、港湾事業には多額の費用がかかるため、財政部局とも協議を行い、施工時期等について検討していきたいと考えているが、令和９年から始めることは現時点では厳しい状況である。
（委員）これだけのことを実施しようと思うと、確かに費用は随分とかかるような感じはする。市の予算だけではできないような気がするし、民間も入れてしないといけないと思うのだが、そういう意味ではその辺の予算的な考えも、この委員会では検討されているのか。
（港務局事務局長）長期構想検討委員会では、予算までは検討していない。
（委員）構想にはいいこともたくさん記載しているが、現実的には、できる可能性はあると見ていいのか。
（港務局事務局長）できるかできないかということをこの場では返事がしづらいのだが、港湾の管理者として港湾の整備は使命と考えているので、事業の実施ができるように市とも協議をして進めていきたいと考えている。
（委員）ぜひとも進めていただきたい。
（委員長）ほかに質疑がなければ質疑を終了する。これにて経済建設委員会を閉会する。

○　閉　会　　午前１０時３８分